

親しみやすい場所 ～ 頑丈な『からっぽの器』 ～

2026 年 1 月 10 日 早朝、雪の積もる富士山を眺め心が癒された。その後、『21 世紀のエステル会』顧問を仰せつかっている筆者は、【川口がん哲学カフェ『いずみ』（主催：『21 世紀のエステル会』代表 金田佐久子牧師）】9 周年記念講演会『良き師、良き友、良き読書との出会い ～ 役割意識と使命感の自覚』】に赴いた。【がんであっても尊厳をもって人生を生きる。『がん哲学外来』の提唱者・樋野先生のお言葉に耳を傾けてみませんか。】と紹介されていた。会場では、多数の質問が寄せられ、大いに感動した。『21 世紀のエステル会』のメンバーは、【代表 金田佐久子（西川口教会牧師） / 広報部長 田鎖夕衣子（がん哲学外来メディカルカフェひばりが丘代表） / 企画部長 太田和歌子（がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ代表） / 編集係 海老澤規子（がん哲学外来さいわいカフェ in 茨城・筑西代表）】で構成されている。終了後、夕食会の時をもった。2026 年 10 周年記念本が、製本される事が決まった。田鎖夕衣子氏は、勤務されている『日本キリスト教団出版局』から、2019 年 12 月 10 日『教会でもがん哲学外来カフェを始めよう』を発行された。（画像）

【はじめに】本書は、この『がん哲学外来カフェ』を『教会でも、開こう！』と呼びかけるために作られました。現実には、今、全国で 200 あるカフェのうち、教会で開かれているカフェが 50 近くあります。私の夢は人口 1 万 5 千人にひとつ、カフェがあることです。そのためには、日本全国に 7 千のカフェが必要です。それは奇しくも、日本全国にある教会の数でもあるのです。

第 1 部 教会で、『がん哲学外来カフェ』を開くために、大切なこと

頑丈な『からっぽの器』を用意しよう・・・・・・・・・・ 樋野興夫

キリストを感じてもらえる働きを・・・・・・・・・・ 榊原 寛

第 2 部 『がん哲学外来メディカルカフェ』 スタッフ体験記

許し許されながら寄り添い合う・・・・・・・・・・ 彦田 かな子

『カフェ』は愛と希望を与えてくれる場所・・・・ 森 尚子 他

第 3 部 『教会カフェ』いかに始め、いかに続けてきたか

『ようこそ！』という溢れる思いで・・・・・・・・・・ 春日井 いつ子

バトンを受け取って・・・・・・・・・・ 太田和歌子

ゆるい雰囲気大切に・・・・・・・・・・ 海老澤規子

一回の『カフェ』が一期一会と心得る・・・・ 金田佐久子 他

【おわりに】『がん哲学カフェ』は、教会へのチャレンジです。牧師と教会員が『馬』をおりて、『カフェ』の参加者と同じ目線に立ち、そして教会に広々とした場所を作っていく。そのような教会は、がんの方だけでなく、誰にとっても、入りやすく親しみやすい場所であるはずです。

教会でも がん哲学外来カフェを 始めよう

Okio Hino
樋野興夫 編著



「がん哲学外来」
創設者
樋野興夫氏が
おくる

苦悩に寄り添い共感する場が、 圧倒的に不足しています

私の夢は人口1万5000人にひとつ、カフェがあることです。
そのためには日本全国に7000のカフェが必要です。
それは奇しくも、日本全国にある教会の数でもあるのです。

日本キリスト教団出版局